

教科	数学科	学年	2年	標準授業時間数	105時間（週3時間）
----	-----	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。 (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。 (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。また、具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。

評 価	観 点	数学への 関心・意欲 ・態度	25%	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識を持って、授業に参加し、与えられた課題を解いている。 提出物をきちんと完成し、期限を守って出す。 数学に興味関心を持ち、自らの課題を見つけ、自主的に学習している。
		数学的な 考え方	15%	<ul style="list-style-type: none"> 数量、図形などについての基礎的な知識と技能を確実に習得するとともに、それらを活用することができる。 数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察することができる。
		数学的な 表現・処理	40%	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現処理したりすることができる。 図形の性質について推論の筋道を簡潔に表現したり、数量関係を的確に表現したり数理的に処理したりすることができる。
		数量・図形な どについての 知識・理解	20%	<ul style="list-style-type: none"> 文字式のはたらし、連立二元一次方程式、平面図形の性質、円周角と中心角の関係、図形の証明の意義と方法、一次関数の特徴、確率の意味などを理解している。
	材 料	定期テスト・章末テスト・小テスト・提出物・授業態度 など		
	方 法	各評価材料を観点別に従って評価する。		

学 習 方 法	使用教材	教科書（学校図書）、完全問題集（正進社）、その他プリント		
	学習形態	一斉授業を基本とするが、課題によってはグループ学習を取り入れる。		
	学 習 の 進 め 方	学校	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業で学ぶことを確認する。 板書を丁寧にいき、復習しやすいようにノートに整理させる。 具体的な事柄から抽象的思考へ発展させる。 問題練習により学習の定着を確認する。 	
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> 5～10問程度計算問題練習する。（計算力アップ、過去の復習） 授業ノートに目を通し、授業内容を確認する。 副教材を利用し、授業と類似した問題をといてみる。 	

年間授業計画

月	単元名・項目	授業 時数	学習のポイント
4	1. 式の計算 (1) 式の計算 ①文字式のしくみ ②式の加法・減法 ③式の乗法・除法	16	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式、多項式のしくみを理解する。 ・同類項をまとめられるようにする。また、多項式どうしの加法・減法ができるようにする。 ・単項式どうしの乗法・除法、数と多項式の乗法、多項式と数の除法、乗法・除法の混じった計算ができるようにする。 ・等式を、指定された文字について解けるようにする。 ・整数の性質が成り立つわけを、文字式を用いて説明できるようにする。
5	④式の値 (2) 式の利用 ①等式の変形 ②文字式を利用した説明 まとめと問題		
6	2. 連立方程式 (1) 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②連立方程式の解き方	15	<ul style="list-style-type: none"> ・2元1次方程式、連立方程式の意味と連立方程式の解の意味を理解する。 ・加減法、代入法によって、連立方程式が解けるようにする。 ・やや複雑な連立方程式が解けるようにする。 ・文章題を、連立方程式を用いて解けるようにする。
7	(2) 連立方程式の利用 ①連立方程式の利用 まとめと問題		
9	3. 1次関数 (1) 1次関数 ①1次関数 ②1次関数のグラフ ③直線の式の求め方 ④1次関数の利用	20	<ul style="list-style-type: none"> ・関数、1次関数の意味を理解し、その特徴を式の形や変化の割合でとらえることができるようにする。 ・1次関数のグラフは直線になることを理解し、1次関数のグラフの特徴を利用して、能率よくグラフをかきことができるようにする。 ・直線の式をいろいろな方法で求めることができるようにする。 ・日常の事象の問題を、1次関数を用いて解くことができるようにする。
10	(2) 方程式と1次関数 ①2元1次方程式のグラフ ②連立方程式の解とグラフ まとめと問題		
11	4. 図形の性質の調べ方 (1) 平行線と多角形 ①平行線と角 ②多角形の角 (2) 図形の合同 ①合同な図形 ②三角形の合同条件 ③図形の性質の確かめ方 まとめと問題	19	<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の性質、平行線の性質を理解する。 ・三角形や多角形の内角や外角についての性質を理解する。 ・合同な図形の性質を理解する。 ・三角形の合同条件を理解する。 ・証明の意味及び仮定、結論の意味を理解する。 ・定義の意味、定理とその逆について理解し、三角形に関する性質を証明できるようにする。
12	5. 三角形・四角形・円 (1) 三角形 ①二等辺三角形 ②直角三角形の合同	22	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形の性質を理解する。 ・直角三角形の合同条件を理解する。 ・平行四辺形の性質を確かめ、それを図形の証明に用いることができるようにする。
1	(2) 四角形 ①平行四辺形の性質 ②平行四辺形であるための条件 ③平行線と面積		
2	(3) 円 ①円周角 まとめと問題	22	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形であるための条件を確かめ、それを図形の証明に用いることができるようにする。 ・平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の関係を理解する。 ・等積変形について理解する。 ・円周角とそれに関する定理を理解し、それを用いて角の大きさを求めることができるようにする。
3	6. 確率 (1) 確率 ①ことごらの起こりやすさ ②確率の求め方 ③いろいろな確率 まとめと問題	13	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を通して、統計的確率の意味を理解する。 ・数学的確率の意味を理解し、簡単な事象の確率を求めることができるようにする。
合計時数		105	

